

2026年(令和8年)3月21日(土曜日)

秋田職能短大

4月から愛称変更

大館市の秋田職業能力開発短期大学校は、4月1日から愛称を「東北能開大秋田校」に変更する。これまで「職短」や「秋田職能短大」として地域に親しまれてきたが、系列大
学校との連携を明確化し、実践技能者の育成を強化するため見直した。

同短大によると、近年は高校生の進学志向の変化などを背景に、修了生の約4割が東北職業能力開発大学校(宮城県)をはじめとする各地の系列大学校へ進学している。

こうした進学動向を踏まえ、同短大での2年間と、応用課程にあたる大学校での2年間を一体的な教育訓練体系として分かりやすく示すため、愛称の見直しに踏み切った。正式名称や訓練内容、運営体制に変更はない。

同短大は1993年に開校。地域産業を支える実践技能者を育成し、約2500人の修了生が地域企業や自治体などで活躍している。

「東北能開大秋田校」